

福岡は、もう経済成長しない。 それでも、へこたれない。

元気なうちに、備える。福岡。 7つの風の谷をつくる

ながさわかんた（永澤幹太）33歳。福岡市生まれ・育ち。青葉中、大濠高。バンド、スタートアップ勤務を経て起業。久山町の里山で自然体験の場を運営（法人3年、年間2,850人）。2026年11月15日の福岡市長選挙に無所属で立候補予定。

現状を示す数字はすべて公表値、または公表値どうしの単純な計算（増減率・割合・今の物価で比べた値＝福岡市の消費者物価指数で2025年の物価に換算・中央値）。政策の費用（3つの政策で4年20～40億円など）は見積もりです。地域は福岡市（例外は明記）。出典の一覧と計算の注記は kantanagasawa.com/sources.html

第1部 元気なうちに —— まちは大きくなった。でも、一人ひとは豊かになっていない

	数字	出典
まちの経済規模	市内総生産（名目）2011→2022年度 7.04兆→8.24兆円（+17％）／人口 2000→2025年 134.1万→166.3万人（+24％）／市税 2015→2025年度 2,841億→4,173億円（+47％、2018年度に県からの税源移譲あり）	福岡市民経済計算、国勢調査、市の決算
地価・マンション	住宅地の地価 2015→2025年 2倍／新築マンション 3,242万→5,305万円（+64％）／天神ビッグバン 85棟竣工（目標30棟）	地価公示、不動産経済研究所、福岡市
納税者1人あたりの所得	今の物価で比べると 1999年 416万→2024年 414万円（25年横ばい）。住民税のかからない人は含まない。社会保険料を引く前	総務省 市町村税課税状況等の調
世帯年収（中央値）	今の物価で比べると 2002年 440万→2022年 396万円（1割低い）。一人暮らしも含む全世帯。二人以上の世帯だけでも 655万→607万円	就業構造基本調査（階級分布から中央値を計算）
一人暮らし	世帯の54.5％（2025年）。一人暮らしの67％が年収300万円未満（2022年）	国勢調査、就業構造基本調査
この3年の手取りと物価	2022→2025年 会社員世帯の手取り +2％、物価 +10％	家計調査（福岡市）、消費者物価指数（福岡市）
毎日のものの値段（2015→2025年）	食料 +35％／ガソリン +30％（1L 136円→177円）／電気代 +40％（2010→2025年）／給料から引かれる税と社会保険料 15％→18％	消費者物価指数（福岡市）、小売物価統計（福岡市）、家計調査
家賃	新しく入居した人の家賃は平均より9％高い（2023年）。新築の家賃は1畳あたり5年で+20％。物価指数では家賃は-2％（住み続けている人の家賃のため）	住宅・土地統計調査、消費者物価指数
不登校	小学生 1,000人あたり30.1人で政令市1位（2024年度、2,492人）。中学生 83.8人＝12人に1人（3,278人）。2017年度に数え方の変更あり	文科省 不登校等調査
心	20歳未満の自殺 2016～20年 36人→2021～25年 73人（2倍）／不登校 4年で2倍（5,770人）／小学校の先生の採用倍率 2000年 8.5倍→2024年 2.2倍（実施年）	厚労省 地域における自殺の基礎資料、文科省
子どもの遊び	公園の遊具 2002～04年度に211基撤去、戻したのは73基／大人向け健康遊具 2009→2021年 2.3倍（総数は横ばい）／ボール遊びを禁止した公園の数を市は把握していない（2024年12月 教育こども委員会）	市議会会議録

第2部 備える ―― これから、人が減り、働き手が最も足りなくなる

	数字	出典
子ども	生まれる子どもは2015年がピーク（14,987人→2025年 11,780人）。子どもの人数（0～14歳）は2020年がピーク（20.5万→2025年 19.6万人）。2021年から亡くなる人のほうが多い	人口動態、国勢調査、住民基本台帳
働く世代	15～64歳の日本人は25年で9%増（95.8万→104.6万人）。人口全体の24%増より小さい。外国人は10年で2.5万→5.1万人（2015→2025年）。転入超過の4割は外国人（2024・2025年）	国勢調査（2015年以降は不詳補完値）、住民基本台帳人口移動報告
外国人を受け入れる仕組み	国が用意する言葉の講座：ドイツ600時間、フランス最大600時間、韓国最大415時間、日本は国の制度なし（2028年度に試行予定）。福岡市はボランティア教室に1教室年8万円まで補助。外国人住民は10年で約2倍（2.9万→6.1万人）	各国政府、文科省、福岡市
介護	求人倍率 3.09倍（福岡県、2025年）。介護職員 2026年度 約2.55万→2040年度 約3.97万人（市の計画）＝毎年約1,000人増。離職率 14.5%の穴埋め約3,700人を足すと、毎年約4,700人の新しい働き手が要る。市は介護の働き手の数を数えていない（2023年11月 市議会答弁）	福岡労働局、市の介護保険事業計画、市議会答弁、市の介護人材アンケート
市の職員	2020→2025年 +2,244人（市役所 +523、学校の先生など +1,701）。特別支援学級 511→975。一般行政の職員は人口あたり政令市最少	総務省 定員管理調査、市教委
暑さ	猛暑日 100年前 年1～2日→2024年 39日、2026年 38日。国の予測「対策しなければ今世紀末に約33日」を超えた年がある。2026年8月、福岡県で初めて40℃	気象庁、福岡管区気象台
古くなるまち	築50年を過ぎた橋 26%→10年後 72%/50年を過ぎた下水道管 12%→20年後 69%/校舎の約8割が築30年以上	市の道路施設個別施設計画、アセットマネジメント推進プラン
一番いい時期でも	人口+32万人（25年）、市税+47%（10年）、地価2倍（10年）、子ども関連予算 2010→2026年度 1,375億→3,431億円（約2.5倍。教育費の増は2017年度の先生の給与負担の移譲が主因、こども育成費だけで約2.1倍）。それでも一人ひとりの所得は横ばい	福岡市財政局、市町村税課税状況等の調
市の目標に、一人ひとりの所得はなかった	2012年の第9次基本計画に市自身が「一人あたり市民所得は下落傾向」と記載。しかし成果指標は進出企業数・従業者数・進出企業による雇用者数（3,000人/年）。所得・賃金の指標は2013年から今の計画まで0件（市民雇用者報酬は参考データとして毎年公表）	第9次基本計画・成果指標一覧、政策推進プラン2017・2025

要約：成長の中身は人口だった。増えた仕事は賃金の上がりにくい仕事で、人は九州と外国から補給され続けた。果実は賃金ではなく地価と家賃に行き、残りを物価と保険料が食った。一番いい時期にできなかったことを、人が減る時期にお金で解決するのは難しい。だから目指す豊かさを変える。お金だけに頼らない豊かさを、人の手と時間を生み出して、まちの仕組みでつくる。

第3部 政策 ― 市政をお預かりすることになった場合、最初の100日で、この3つから始める

どれも、新しいものを買う話ではなく、いまある学校、いまいる人、いまある金の使い方を変えて守る話。歩行者スケールでまちをつくる。それが、子ども目線のまちづくり。

1 福岡に、7つの風の谷を。

FUKUOKA 風の谷プロジェクト＝小学校をアップデート。目に見える校区単位のまちづくり。災害時は水とエネルギーが3日止まらない生活拠点、平時は多様な人と生き物の交流拠点。同じ福岡市でも校区はまったく違う（平尾小1,078人、玄界小3人、市の面積の約半分は田畑と山）ので、同じものを7つ配らない。最初の100日で1号地を決め、住民との対話を始める。2027年度に1号地開所、2028年度末に7区に7校。ハコモノは建てない。経済成長のための再開発を市が先に立ってやることはしない（民間の投資は歓迎）。

避暑・防災

停電しても眠れる避難所

公民館の統合

いこいの家も、小学校に

生き物・果樹

木陰と果樹、鶏と水辺

発電・蓄電

屋根の太陽光と蓄電池

市民食堂

週1回、同じ机でごはん

異世代サークル

空き教室を、地域の拠点に

スタートアップ

空き教室、賃料無料

キャンプ利用

校庭で、子どもも大人も

校区単位の進化

7つの校区、7つの個性

2 ポケットに、市役所を。

市の10個のアプリを一つに。市役所の定型事務を1/10にして、浮いた人手と時間を教育と介護へ。窓口は減らさない、職員は解雇しない。子どもは人口の14%→12%（2000→2025年、0～14歳）、まちの少数派になった。18歳未満は投票できない。だから声が届く仕組みをつくる。最初の100日で職員用の記録アプリを1～2区で試し、待ち時間と手続きの時間を測り始める。任期中に対象の手続きの処理時間を1/5。数えるのは導入した数ではなく、時間。

スマホで申請

あらゆる申請が、スマホで

給付はワンタップ

受け取りは、1回のタップ

窓口で書かない

窓口は減らさない

QRで防災倉庫

災害時、住民が自分で開ける

生徒手帳で予約

中高生が1人で、体育館を

子どもの政治参加

SNS機能・条例づくり

定型事務を1/10

測る・写す・人を動かす

先生の時間が戻る

記録と報告を、アプリで

教育と介護へ

浮いた人手と時間を、回す

3 つくる前に、数える。常に学ぶ議会。

10億円以上の事業は、建てる前に収支を公開し、第三者が数えてから議会へ。約束と結果の答え合わせを議会に毎年届ける。市議会は2024年2月～2026年9月の14会期で市長提出議案700件を否決0・修正0。着工前の市のルールで止まった事業は0（北九州市には制度がある）。議員が悪いという話ではなく、判断の材料が先に出ていないという話。最初の100日で条例の骨子を公開、2027年6月議会に提出、2028年度予算から本番。最初に通すのは、私自身の風の谷の収支計画。

10億円以上

建てる前に、第三者が数える

収支を公開

着工前に、市民が見られる

答え合わせ

約束と結果を、毎年議会へ

1人あたり所得

市の指標に。毎年、答え合わせ

介護の働き手

市が数えていない数

不登校・居場所

子どもの実態を数える

一人暮らし

手取りと家賃を数える

北九州市にはある

着工前のルール。市は0件

風の谷から

最初に通すのは自分の政策

費用：3つ合わせて4年で約20～40億円（年5～10億円）。一般会計 年1兆1,088億円の0.1%以下、自由に使えるお金 年1,156億円で見ても1%以下。市民1人あたり年300～600円。新しく建てるハコモノは0棟。

よく聞かれる論点への立場

論点	立場	出典
天神ビッグバン	賛成。民間投資で建物の耐震性が上がる。もともとどんな場所だったかの記憶も残せる（明治通り地下の福岡城外堀の石垣保存、建て替えビルに復元された神屋宗湛ゆかりの庭石・石灯籠）。市が先に立つ再開発はしない	
ウォーターフロント（博多埠頭）	風の谷型。再開発ではなく、博多小のような拠点を明るく広く伝える。交流人口が増え賑わうことも目標に。博多小は市の指定避難所（高潮時は2階以上が使用可）	
外国人	学ぶ仕組み。追い出すことも無制限に受け入れることもしない。言葉と暮らしのルールを学ぶ場を、風の谷になる小学校や老人いこいの家、公民館など、いまある場所で	
子育ての給付	続ける。受け取りはワンタップで	
減税	しない。働き手が最も足りなくなる時代。税を減らすより、人と時間に使う	
交通	ロボタクシー（自動運転タクシー）の実証実験を招致	
部活	市は「学校に残す」方針だが計画も公開ルールもない。部活動指導員は4年で110→366人。中学校の先生の約3割は時間外が月45時間超。部活に入る中学生は74.5%→67.4%（2013→2023年度）。入らない子どもが自分で予約して使える場所を、生徒手帳のQRでつくる	市議会答弁、文科省、市教委
経済成長を諦めるのか	諦めるのではない。賃金や物価は国の政策と為替で決まる部分が多い。市が直接動かせるのは、暮らしの固定費と、人のつながり。そこを約束する	

選挙のお金の使い方

選挙ドットコムの候補者一覧は、標準の並び順だと有料会員の候補が上に並び（運営会社が公開。首長プランは1年で税込162,360円）。私は会員にならない。寄附でいただいたお金は、並び順を買うことには使わない。候補者を見比べるときは「届出順」か「50音順」に切り替えて。

主な出典

福岡市民経済計算／国勢調査（2025年は確定値）／福岡市の決算・税務統計／地価公示／総務省 市町村税課税状況等の調／就業構造基本調査／家計調査（福岡市）／2020年基準消費者物価指数（福岡市）／小売物価統計調査（福岡市）／住宅・土地統計調査／文科省 児童生徒の問題行動・不登校等調査、公立学校教職員の人事行政状況調査、教員採用選考試験の実施状況／厚労省 地域における自殺の基礎資料／人口動態統計／住民基本台帳人口移動報告／福岡労働局 職業紹介の状況／福岡市 介護保険事業計画・介護人材アンケート／総務省 定員管理調査／気象庁／福岡市 道路施設個別施設計画・アセットマネジメント推進プラン／福岡市財政局 当初予算案の概要・ふくおかの家計簿／第9次・第10次福岡市基本計画と政策推進プラン／福岡市議会会議録／福岡市 指定緊急避難場所及び指定避難所一覧。出典のURL・表名・計算の注記は kantanagasawa.com/sources.html

ながさわかんだ後援会 kanta.nagasawa.support.group@gmail.com / 政策サイト kantanagasawa.com / X @dr_kanta

会見のフリップ（全51枚）と出典は、HPの「10/6 会見の記録」で公開しています。